

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	塵芥収集指導・啓発事業	コード	81114
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民環境課	作成者 吉田 和正
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	循環型社会の構築	施 策	廃棄物対策の推進
		予算科目	塵芥収集指導啓発事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	廃棄物処理及び清掃に関する法律第6条の2		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	ごみ減量と3Rの推進を図るため、講習会や学習会の開催、各種啓発イベントの実施、広報・チラシなどによる意識啓発活動を行う。		
目的	対象者	市民・事業者	
	意 図	ごみ減量と3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>岡谷市家庭ごみ収集カレンダーを作成し、全戸配布した。</li> <li>カレンダーに収集業者6社の広告を掲載し、「家庭ごみの分け方・出し方」のイラスト入りの説明を掲載した。</li> <li>分別されていない燃えるごみ、燃えないごみ、その他プラスチック、生ごみに違反シールを貼付し、注意を促した。排出者が特定出来るものは直接指導を行った。</li> <li>衛生事務嘱託員を委嘱し、ルールの守られない排出者に対し指導を行った。</li> <li>地区衛生自治会の方々と、定位置において分別の手伝いを行った。</li> <li>ごみ・資源物の出し方、特に分別の変更点等については、チラシを全戸配布するなど重点的周知の徹底を図った。</li> </ul>			
前年度の課題への対応	・外国人にも分別の理解をしていただけるよう、外国語の分別カレンダーの作成に着手した。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	出前講座などの勉強会、施設見学などの事業件数			単位	件
実績値	15	15	15		
*指標の説明	学習会の開催数（サンデーリサイクルは除く）				
② 成果指標（指標名）	違反シール貼付件数			単位	件
目標値	4,805	4,519	4,601	3,950	
実績値	5,021	5,112	4,388		
達成度	104.5%	113.1%	95.4%		
*指標の説明	定位置へのごみ排出違反に対する直接指導件数				
*目標値の設定方法の説明	前年度貼付件数の実績値×0.9				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	907,811	838,552	1,087,963	1,327,000
経常経費	907,811	838,552	1,087,963	1,327,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
正規職員の人数(人)	0.75	0.75	0.75	0.75
③ 合計コスト(①+②)	6,907,811	6,838,552	7,087,963	7,327,000
前年度比		99.0%	103.6%	103.4%
財源	6,607,811	6,538,552	6,787,963	7,027,000
一般財源				
内訳	300,000	300,000	300,000	300,000
特定財源				
* 特定財源の説明	ごみ収集カレンダー広告料収入			
④ 活動一単位あたりコスト	460,521	455,903	472,531	
前年度比		99.0%	103.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額 0	0	0	0
	割合 0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 85.8%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 95.4%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、分別の方法が一部市民に浸透していない。</li> <li>・区への未加入者や、アパートの住人、外国人のルールが守られていないケースが多い。</li> <li>・説明会を開催しても、環境やごみ減量に関心のある人の参加は得られるが、分別が出来ていない市民の参加が得られない。</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量へ向け、ごみの発生抑制、分別についての意識啓発を図る。</li> <li>・「広報おかや」やホームページ、新聞、テレビなどの媒体を使って周知を図る。</li> <li>・外国語のカレンダーを活用して、分別の周知を図る。</li> </ul>	
	改善開始時期	平成31年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---